

情報資源組織論 新訂版 ユニット構成

UNIT 0 情報資源組織論を学ぶ

◎情報資源組織の意義

UNIT 1 図書館の機能と情報資源組織

UNIT 2 情報資源組織業務の種類

UNIT 3 情報資源組織業務の位置づけ

UNIT 4 多様化するメディアと情報資源組織業務

UNIT 5 情報資源へのアクセスと情報資源組織

option A 情報資源アクセスにおける目録

◎書誌コントロール

UNIT 6 書誌コントロールの定義

UNIT 7 書誌コントロールの対象

UNIT 8 国際レベルの書誌コントロール

UNIT 9 国内レベルの書誌コントロール

UNIT 10 書誌コントロールと目録規則／分類法

option B 書誌コントロールとメタデータ

◎書誌情報の作成・流通・管理

UNIT 11 書誌ユーティリティの機能

UNIT 12 OPAC（オンライン閲覧目録）の背景と歴史

UNIT 13 MARC

UNIT 14 OPAC の形成と利用

UNIT 15 OPAC のこれから（効果・問題点・将来）

option C 代表的な書誌ユーティリティ

◎コンピュータによる目録作成の実際

UNIT 16 コピー・カタログとオリジナル・カタログ

UNIT 17 総合目録：集中型と分散型

◎目録法の基礎

UNIT 18 目録法の基礎（1）

UNIT 19 目録記入のメディア

UNIT 20 目録法の基礎（2）

◎記述目録法の基礎

UNIT 21 記述目録法の概要

UNIT 22 記述の範囲

UNIT 23 『日本目録規則 1987年版改訂3版』の構成

option D 目録規則の標準化と統一

option E 情報資源の記述をめぐる最近の動向－CR から FRBR/ICP/RDA へ

option F 目録規則の変遷

option G 代表的な目録規則

◎記述の単位と順序

UNIT 24 書誌階層の考え方と階層化の利点

- UNIT 25 書誌記述の情報源
- UNIT 26 書誌的事項と記述の順序
- ◎記述目録作成の実際 (1)
 - UNIT 27 記述ユニット方式
 - UNIT 28 図書館記号と著者記号
 - option H 図書館記号
 - option I 著者記号表
- ◎記述目録作成の実際 (2) : 書誌的事項の記述
 - UNIT 29 タイトルの表示
 - UNIT 30 責任表示
 - UNIT 31 版表示
 - UNIT 32 出版・頒布等に関する事項
 - UNIT 33 形態に関する事項
 - UNIT 34 シリーズに関する事項
 - UNIT 35 注記に関する事項
 - UNIT 36 標準番号、入手条件に関する事項
- ◎記述目録作成の実際 (3) : 多様な情報資源の組織化
 - UNIT 37 地域資料・行政資料の組織化
 - UNIT 38 パッケージ系のメディア
 - UNIT 39 ネットワーク情報資源
- ◎記述目録作成の実際 (4) : 標目と排列
 - UNIT 40 標目
 - UNIT 41 排列
- ◎主題目録法
 - UNIT 42 主題目録法の概要
 - UNIT 43 『日本十進分類法』の概要
 - UNIT 44 『基本件名標目表』の概要
- ◎分類法の基礎
 - UNIT 45 分類法の概要
 - UNIT 46 書架分類と書誌分類
 - UNIT 47 分類記号法 : 十進分類法と序列表示型分類法
 - UNIT 48 分類方法論 : 列挙型分類法, 分析合成型分類法 / ファセット分類法
 - option J 分類表の維持と更新
 - option K 世界の主要な分類法
- ◎主題目録作成の実際
 - UNIT 49 『日本十進分類法』の適用
 - UNIT 50 件名目録作成の実際
 - option L 図書館以外の資料の分類
 - option M シソーラスと件名標目表
 - option N 件名標目の三つの側面
 - option O LCSH と NDLSH